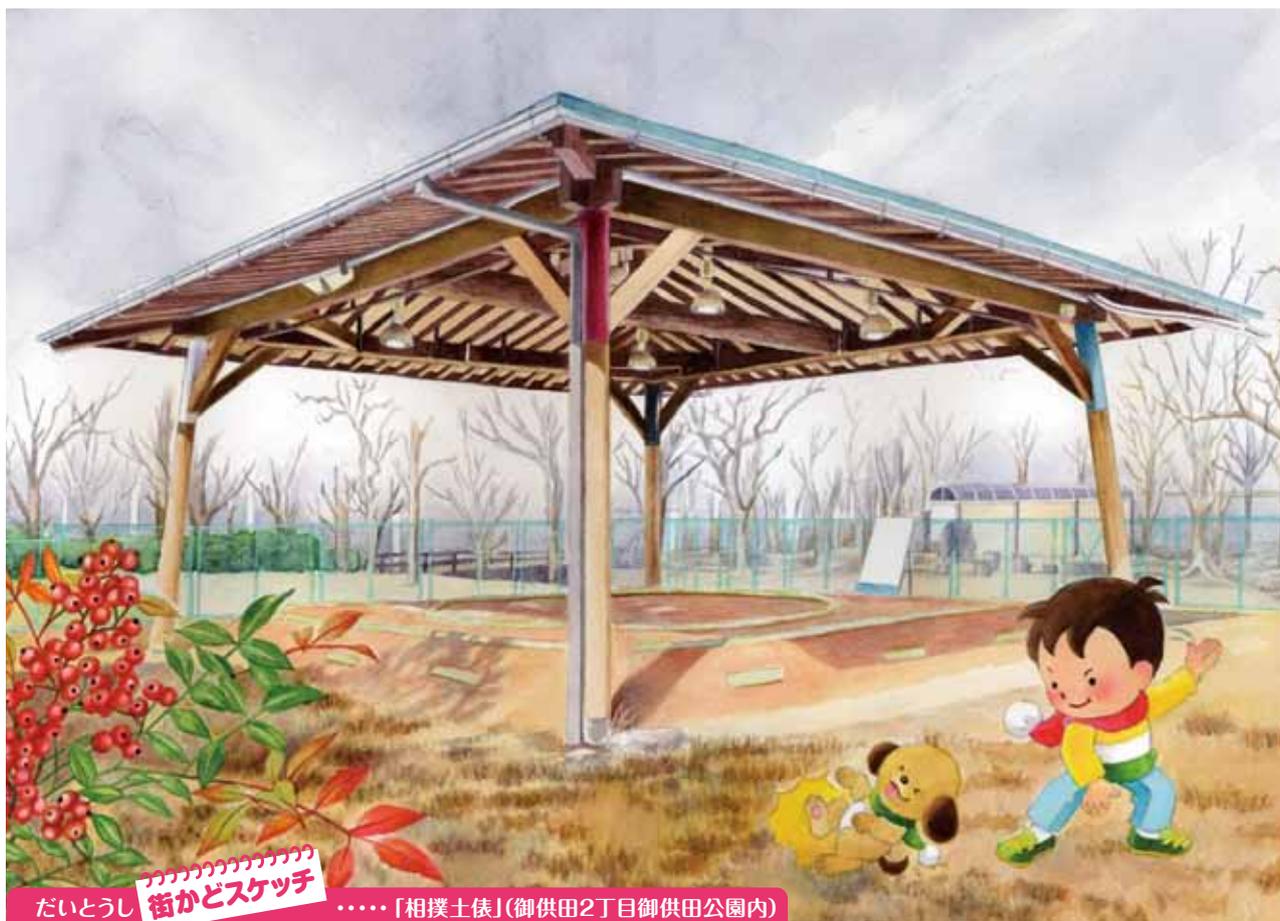


# だいとうし 議会だより

2013年 2月



12月定例会号 No.64



だいとうし 街かどスケッチ ……「相撲土俵」(御供田2丁目御供田公園内)

御供田公園内の一角に公式試合も開催できる立派な屋外土俵があります。平成6年に市民体育館敷地内から移されました。隣接する室内土俵の稽古場では季節や天候を問わず小さな力士たちが練習に励んでいます。

### 審議の内容がもっとわかる!

本会議の録画映像がインターネットでご覧になれます

大東市議会ホームページ

<http://daito.gijiroku.com/gikai/>

だいとうし議会だよりについてのお問い合わせ  
大東市議会事務局 TEL.072-870-0763

### もくじ

12月定例会のあらまし	2~3
一般質問	4~6
市議会レポート	6
一般質問項目/議会活動日誌	7
議案の審議結果	最終ページ

### 市議会を傍聴しませんか

次の定例会の開催予定日です

- 2月 25日(月) ……本会議(議案上程・委員会付託・施政方針)
- 3月 3日(日) ……本会議(代表質問)
- 5日(火) ……いきいき委員会
- 6日(水) ……いきいき委員会
- 7日(木) ……まちづくり委員会
- 8日(金) ……まちづくり委員会
- 21日(木) ……本会議(一般質問)
- 22日(金) ……本会議(一般質問)
- 25日(月) ……本会議(一般質問・委員長報告・表決)

日曜議会を  
開催します。

変更となる場合がありますので、事前にお問い合わせください。  
※請願・陳情の受付期限は、2月14日(木)です。

# 12月 定例会の あらまし

平成24年12月第4回定例会を12月3日に開会し、9月第3回定例会で継続審査となっていた23年度一般会計・各特別会計・企業会計の決算を認定したほか、24年度各会計の補正予算、指定管理者の指定、条例の制定・一部改正などを審議し、21日に閉会しました。

また、19日には、議場でコンサートを開催しました。

(最終ページに関係記事)

## 23年度各会計決算を認定

平成24年12月3日の本会議で、23年度一般会計・各特別会計・企業会計の決算について、各常任委員会委員長から審査結果の報告を受け、採決の結果、一般会計については賛成多数で、その他の特別会計・企業会計についてはいずれも賛成全員で認定しました。

一般会計の決算概要は、歳入総額4億5367万円、歳出総額4億5367万円で、22年度に比べ歳入・歳出ともに3.3ポイントの増加となりました。24年度へ繰り越した財源を差し引いた実質収支は、6億5177万円の黒字となっています。

特別会計では、国民健康保険特別会計の単年度収支が2億7247万円の黒字となっており、実質収支の赤字額は昨年度の8億2042万円から5億4795万円に改善されました。今後有効な収納対策を講じ、納税者間の公平の確保と国保財政の健全化を進めていくことが望まれます。一方、下水道事業特別会計の実質収支は3億8099万円の黒字で、市街化区域における下水道の人口普及率は98・3%となっています。今後も、わずかに残る未整備区域の着実な整備と、下水道施設の老朽化・耐震化対策に計画的に取り組むことが望まれます。

## 「指定管理者制度の運用の見直しを求める決議」、 「河川ごみ回収施設の設置を求める決議」の2件を賛成全員で可決

決議 第4号

### 河川ごみ回収施設の設置を求める決議

大東市の住道駅前で合流している一級河川、寝屋川・恩智川は、駅前デッキから河川を見るといつも大量のごみが浮いている。

その対策として、大阪府に要望し、大東市と東大阪市の境界に河川ごみ回収ネットを設置する試験実施を行った。その時には、浮遊ごみは流れてこなくなり、これが、有効な対策であることが判明した。大東市の玄関口でもある住道駅前を流れる寝屋川を美しくするためには、河川ごみ回収施設を常設することが必要である。

そのため、大東市が、東大阪市との境界に河川ごみ回収施設の常設を大阪府に要望し、河川を美しくするための対策を実施されますことを強く要望いたします。

以上、決議する。

平成 24年 12月

大東市議会

決議 第3号

### 指定管理者制度の運用の見直しを求める決議

指定管理者制度は、本市では平成17年から開始され、現在15施設が、指定管理者導入施設となっている。

制度を導入してから、すでに8年が経過し運用上の様々な課題を一度検討し、見直す時期にきていると考えられる。

そのため、指定管理者制度について下記の項目を取り入れた運用の見直しを大東市議会として要望いたします。

記

- 指定管理者の公募時に1社のみ応募の場合は再募集すること
- 指定管理者の指定期間を一律ではなく施設により見直すこと
- 地元業者を育成する観点を取り入れること

以上、決議する。

平成 24年 12月

大東市議会

## 24年度一般会計補正予算 12億9329万円を可決

歳入歳出予算の総額に12億9329万円を増額した一般会計補正予算（第3次）（議員提案による修正あり）について、修正案・修正部分を除く原案とともに賛成全員で可決しました。その主なものは、

- 将来の未払い負担を軽減するため、大阪府市町村施設整備資金貸付金の繰り上げ償還を行う元金（繰上償還）に3億6648万円
- 平成24年4月1日付人事異動に伴う費目間調整および勸奨等による退職者の減額等により、職員給与費を1億2967万円減額
- 雨水の流出を抑え浸水被害を軽減する施設を北条西小学校跡地に設置するため、設計委託を行う雨水貯留施設整備事業に99万円

### 出前政策意見交換会を開催

平成24年10月27日、サーティホール多目的小ホールにおいて出前政策意見交換会を開催し、100名の市民の皆様にご参加いただきました。同交換会では、区長会、民生委員児童委員協議会、人権擁護委員会などから多くのご意見・ご要望をいただき、そのうち主なものを「市政についての議会による政策提言」として、市長に申し入れました。

- 府の補助金（緊急雇用創出基金事業）を活用し、障害のある失業者にホームページ作成等のITスキルを習得させることで、就業定着を推進するIT人材育成事業に228万円
- 高齢者のニーズに合ったサービスを提供するにあたり、アンケート調査を行い、現状を把握する高齢者ニーズ調査事業に70万円
- 25年度から未熟児養育医療給付事業に関する事務が府より移譲されることに伴い、給付事務等を効率的に行うためのシステムを導入する未熟児養育医療給付費に19万円
- 北条西小学校跡地の活用による、障害児通園施設等の社会福祉施設、スポーツ施設、住民交流施設等の整備に向けて、基本設計に基づく実施設計書を作成する北条西小学校跡地活用事業に966万円
- ポリオ定期予防接種が生ポリオワクチンの集団接種（2回の経口投与）から副作用の心配のない不活化ポリオワクチンの個別接種（4回の皮下注射）に切り替わったことに伴い委託料を増額する、各種予防接種事業費の増額分として4180万円
- 教育環境の整備費として活用するため、積み立てを行う教育文化基金積立金に7億円
- 南郷小学校、諸福小学校、住道中学校の各校に設置されているエレベーターの安全性を向上させるため、戸開走行保護装置等の設置工事を行う小・中学校維持補修費に1181万円
- 中学校給食の実施に向けて各中学校の配膳室整備、エレベーター設置工事および地質調査を行う給食運営事業に1553万円
- 府の補助金（重点分野雇用創出事業）を活用し、中央図書館の図書にICタグを貼付することにより、不正持ち出しの防止、サービスの向上、業務の効率化を図る中央図書館ICタグ貼付事業に883万円

- また、翌年度以降に渡る支出予定額に伴う債務負担行為の追加補正として
- 中学校給食の実施にあたり、民間業者に調理業務および配送業務の委託を行う給食運営事業（中学校）に8億8594万円（24～28年度、限度額）などが計上されています。（金額は1万円未満四捨五入）

### 議員提案による一般会計補正予算の修正を可決

「市立南郷子育て支援センターの指定管理者の指定について」が否決されたことに伴い、一般会計補正予算（第3次）について、翌年度以降に渡る支出予定額に伴う債務負担行為の追加補正のうち、南郷子育て支援センター指定管理者委託（平成24～29年度、限度額15107万円）を削除する修正案が議員提出され、可決しました。

### 意見書1件を可決

東日本大震災の教訓を踏まえ、防災・減災体制を再構築し、必要な施策を総合的かつ集中的に推進するための基本理念や基本方針、財源確保策を明確に定めた基本法の早期制定を求める「防災・減災体制再構築推進基本法の制定を求める意見書」を賛成全員で可決し、国に送付しました。

### 議会市民レポーターを募集します

- 内容 市議会の運営や市議会広報に対する意見の提出、市議会活動の市民への周知、レポーター会議への出席など
- 対象 平日に開催される市議会の会議の傍聴が可能な20歳以上の市民
- 募集人員 若干名（多数の場合は選考）
- 任期 4月1日～平成26年3月31日まで
- 報奨金 年額1万円

- 申し込み 2月15日（消印有効）までに郵送かメールで住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号、簡単な応募動機を書いて、〒574-8555 大東市谷川1-1-1 議会事務局 まで
- TEL 072-870-0763
- メール gikai@city.daito.lg.jp



# 一般質問

今定期例会では、15人の議員から一般質問があり、各議員が希望した項目を要約して掲載しています。なお、各議員の一般質問の主な項目は、7ページ上段に掲載しています。

## 肺炎球菌ワクチン公費助成を

大谷 真司議員(公明党議員団)

**問** (1)各種ワクチンの公費助成が実施され、市民の健康維持に大きく貢献しています。高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンの助成も実施できませんか。

**答** 高齢者の重症肺炎のうち約50%は肺炎球菌によるものであり、ワクチンは約80%の肺炎球菌に効果があること、また接種後は約5年間効果が持続すると言われています。公費助成を実施する方向で検討していきます。

**問** (2)ゲリラ豪雨対策として、吸水土のう



**答** 吸水土のうの特徴を踏まえた上で、保管場所や市民向けマニュアルの作成を含め、検討していきます。

## 児童センターの再活用を

寺坂 修一議員(公明党議員団)

**問** 平成25年3月をもって廃止される諸福・深野児童センターの再活用について、どう考えていますか。

**答** 具体的には未定ですが、市民ニーズや地域全体の公共施設のバランスなどを考慮しながら、市民が有効に利用できる施設とする方向です。

**問** 西部地域には教育関連施設がありません。廃止される児童センターを教育相談やゼミの実施、放課後の居場所づくりなど、子どもの教育に係る施設として活用できませんか。

**答** 市の方針が決定するまでの間、暫定的な活用を検討するとともに、教育は市の重要課題の一つでもあり、これを第一に検討していく考えです。

## 子ども医療費助成の拡大を

大東 真司議員(公明党議員団)

**問** (1)本市は平成24年度から子ども医療費助成の対象年齢を引き上げましたが、全国の約4割の市町村は、中学3年生まで助成しています。本市でも実施できませんか。

**答** 子育て世代支援に加え、福祉政策の観点からも優先順位の高い課題と考えています。準備期間を考慮すると早くても26年度以降となりますが、実現に向けて検討していく考えです。

**問** (2)「パーソナルサポートサービス」は、生活上の困難に直面している市民に対し、個別に広範な支援を行うものです。本市でも導入できませんか。

**答** 個別に事情を汲み取って対応するシステムは必要性が高いと認識しており、前向きに検討していく考えです。

## 若者への就労支援について

酒井 一樹議員(公明党議員団)

**問** 失業率の高い若者に対する就労支援は、市にとって重要な課題です。本市はどのような支援を行っていますか。

**答** 若者や保護者を対象に就労相談会とセミナーを開催し、大阪産業大学と連携した合同企業説明会や若年者就労体験事業なども実施しています。

**問** 兵庫県西宮市は「しごと相談室」を設置し、NPO法人によるきめ細かな支援活動が行われています。本市でも導入できませんか。

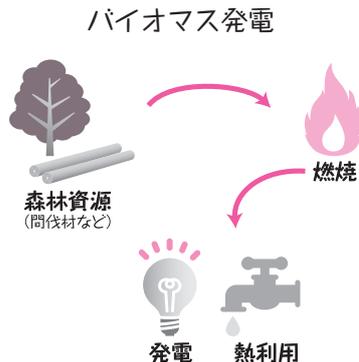
**答** 本市では、ハローワーク門真出張所の地域職業相談室と大東市地域就労支援センターからなる「ワークサポート大東」を設置しており、専門員による相談など様々な支援を行っています。

## 龍間地区にバイオマス発電施設の実現を

中村 ゆづ子議員(大東維新の会)

**問** 府が、平成24年度に「大阪らしい新たなエネルギー社会」の創造に向けた提案を募集したところ、本市の企業によるバイオマス発電施設の提案がありました。龍間地区が建設候補地となっており、この施設が実現したら地産地消エネルギーが可能となり、本市ならではの新エネルギーの創出となります。具体的な支援策を考えていますが。

**答** 候補地は金剛生駒紀泉国定公園内にありますが、環境に負荷をかけない発電設備であり、現在のエネルギー事情を勘案すると、府は柔軟な対応をするものと考えられます。支援策について、具体的に検討する考えです。



### 小・中学校の授業に 介助カリキュラムを

石垣 直紀議員(大東維新の会)

**問** お年寄りや、車いす利用者をはじめとする障害のある人への配慮が子どものときから自然に身につくよう、小・中学校の授業に介助のカリキュラムを組み込むことはできませんか。

**答** 小・中学校では、「福祉についての理解を図り、心情や実践力を育む」観点から、子どもの発達段階に応じた、体験的な学習活動を含む様々な取り組みを行っています。介助について学習・体験することは、思いやりのある行動を育むことにつながると認識しており、今後、その内容や取り組み方法などに

ついて、学校と連携し、研究を進めていく考えです。

### 定住人口増加対策についてなど

品川 大介議員(清 新 会)

**問** (1)若年層の流出に歯止めをかけ、定住化を促すため、新婚世帯への家賃助成や、子育て世帯を対象とした住宅取得助成を行うことはどうですか。

**答** 近隣市の動向を研究することも、公営、民間を含めた総合的な住宅施策、子育て支援や教育の充実など、定住につながるさまざまなサービスを多角的に展開して、若い世代に選ばれるまじづくりを進めていく考えです。

**問** (2)本市に残る火の見やぐらの多くは、老朽化が著しく危険です。市は対策を講じるべきではありませんか。

**答** 火の見やぐらの維持管理は所有者である自治会が行ってききました。市は何ができるか、研究していく考えです。



氷野公園と消防団の間に設置されている火の見やぐら(氷野1丁目)

### 四条駅南ガード下の 路面改修を

飛田 茂議員(日本共産党議員団)

**問** (1)四条駅南側のガード下の路面は、デコボコな上に傾斜が大きく、お年寄りの転倒事故が起きるなど危険な状態です。改修できませんか。

**答** 早期に改修する考えです。

**問** (2)強行採決された府の教育条例により、保護者や子どもが教員を評価するアンケートが平成25年度から本格実施されます。この制度は、教員に過度の心理的負担を強いるなど大きな問題を抱えています。どう考えますか。

**答** 授業アンケートは、教員の授業力向上や授業改善を目的としており、テスト結果などは異なる視点から授業力を問い直すことは必要と考えています。

### 鴻池新田停車場線に歩道を

北村 哲夫議員(大東維新の会)

**問** 府道・鴻池新田停車場線は、西部地区の大動脈ですが、東大阪市側は歩道が整備されているのに対して本市側は歩道が切れているところもあり、特に朝夕はいつ事故が起きてもおかしくないほど混雑しており、危険です。道路の拡幅と歩道の早期設置を、強く府に働きかけていますか。

**答** 平成23年度は、側溝のふたの補修と舗装工事の実施にとどまっております。管理者である府枕方土木事務所にも早期の整備を要望しています。回答では、当面

の着手は困難であるが、24年3月策定の都市整備中期計画(案)重点化方針に基づき、事業の必要性や優先度について検討していくこととします。

### 地域への財源移譲を

三ツ川 武議員(大東維新の会)

**問** 地域のような課題は、中学校区単位で運営される「全世代地域市民会議」で論議し、解決していく方針に賛同するものですが、市民意識・ふるさと意識を向上させ、地域のきずなを深めるためにも、税の一部を財源として地域に還元できませんか。

**答** 全世代地域市民会議は、「地域のごことは地域で決める」という地域力の結集を意識して創設するもので、平成25年4月の始動を目指しています。権限と財源については、各市民会議の発展と成長、成熟の度合いを見定めながらお渡ししていく方向で、現在、地域を回りながら、市民会議の将来像や市の考えを説明しているところです。

### 入札制度改革について

水落 康一郎議員(清 新 会)

**問** 市内業者育成方針は、岡本市政時代が5180度、考えが変わっています。これまでは市外業者でも落札額が低ければ良いという方針でした。入札参加を市内業者に絞ると、競争原理が働きます。市内業者の受注による税収増と、落札率の高止まりによる歳出増の

◆シミュレーションはしましたか。  
▼厳密なシミュレーションはしていません。

◆平成23年度で1000万円以上の工事の40%が落札率60%台の低入札であったとのことですが、低入札ゆえの不適格な工事、品質の悪化が認められたという事実はありますか。

▼工事検査室が確認しており、幸い問題を認めたことはありません。

### 入札制度の改善についてなど

中河 昭議員(大東維新の会)

問 (1)災害時対応の観点からも、地元業者の育成は大切です。工事入札において導入された「最低制限価格制度」について答弁してください。

答 企業間の低価格競争が進み、地元業者の持続的な業務活動の支障となりにかない状況です。また、市が発注する工事の品質と安全な施工を確保するためにも、適正価格による契約が必要であり、入札制度を改善したものです。

問 (2)市庁舎は耐震性能が不足しており、危険な状況です。新庁舎建設について、どう考えていますか。

答 現庁舎の老朽状況の把握と、耐震補強、同所での建て替え、または移転する場合について比較検討するための基礎調査を行っているところです。



### 子育て支援の優先課題について

豊声 勝子議員(日本共産党議員団)

問 子育て支援の優先課題として、子ども医療費助成の対象年齢を中学校卒業まで拡大できませんか。

答 平成24年度から、入院は小学6年生、通院は小学3年生まで助成対象年齢を引き上げたところです。さらなる拡大については、府下の状況を踏まえ、検討していく考えです。

◆子ども発達支援センターは、北条西小学校跡地へ移転することですが、保護者から安全面での不安の声が寄せられています。どう対応しますか。

▼安定した療育環境は不可欠であり、安全確保を優先した基本設計の見直し作業を進めています。現場職員や保護者の意見をできる限り尊重し、設計案に盛り込んでいく考えです。

### 西部地域に市営住宅建設を

古崎 勉議員(日本共産党議員団)

問 (1)人口減少を抑えるため、若い世代が定住できる環境整備が重要です。定住化都市を目指す有効な施策として、新田し尿処理センター跡地に市営住宅を建設できませんか。

答 当該地は工業地域内にあり、市営住宅の建設は困難です。老朽化した市営住宅の対応としては、「住宅マスタープラン」や「長寿命化計画」を最優先課題として取り組んでいます。

問 (2)事務分掌条例の改正が提案されています。

ます、「戦略室」は、これまで臨時機構として設置されています。地方自治法上問題ではありませんか。地方自治法上の疑義がある部分については、今回の条例提案で削除しています。

### 業務委託の随意契約の見直しを

光城 敏雄議員(無党派)

問 本市の業務委託の随意契約について、件数と主なものを教えてください。

答 平成23年度で金額が50万円を超えるものは、245件です。このうち最も高

額のもの、ごみ収集に係る契約で8億4307万円余です。  
◆8億円超の随意契約は非常に問題があり、50万円を超える契約は競争入札をするべきです。国は17年ごろから随意契約を見直していますが、本市でも見直す考えはありませんか。

▼現在、随意契約の見直しを重ねることで成果が出始めていると認識しており、必要性・優位性について、案件ごとにさらに検証する必要があると考えています。

### 市民市議会レポート

### 聴いて見て

### だいとう市議会

### 12月定例会を傍聴して

市長さんの施政方針に沿った歩みが、行政の努力で一歩ずつ前進しているんだなと感じました。地域活性化のためのプロジェクトチームの立ち上げ、各地域の区長さん協力のもと「全世代地域市民会議」の創設など、住みよいまち大東市のビジョンが見えてくるようです。

経済問題、エネルギー問題、防災、減災、教育、福祉など、大東市議会はそれらが見える場だと思っています。議場コンサートや大画面モニターの利用など工夫もあり、今後のさらなる進化に期待します。

(K.N.)

### 未来を担うのは青年の力

政治は私たちの暮らしや生活を左右します。しかし、その政治に無関心な人が多いと感じます。それは、昨年12月に行われた衆議院選挙の投票率にも表れていたと思います。

未来を担う青年の力はとても大切です。いかに若者の政治参加を促し、親しみが持てる政治をアピールしていくか、とても大きな課題だと思っています。

これからは、小学校からずっと政治の勉強を、いろいろな角度から取り入れたらどうかと思う今日この頃です。

(北条六丁目 松田智恵子)

一般質問の主な項目 (赤色の項目は4～6ページにその質疑の要約を掲載しています)

- [1] 三ツ川 武議員
  - 北生駒整備基本構想について
  - 国から地域、府から市への権限移譲について
  - 自治会活動など地域の実情について
  - 地域への財源移譲について**
  - 本市エリアの学研都市への加入について
- [2] 酒井 一樹議員
  - 子ども・子育て支援の拡充について
  - ミニバイク隊・消防バイク隊の導入について
  - URを活用した市営住宅の建て替えについて
  - カラス対策防鳥ネットの無料貸し出しを
  - 市民への窓口のあり方について
- [3] 大谷 真司議員
  - 吸水土のうの導入と各地域での備蓄について**
  - 表面貯留施設の拡充について
  - 自主防災備蓄倉庫の設置推進について
  - スクールバスを活用したデマンドバスの運行
  - 次世代緊急通報システムの導入について
- [4] 古崎 勉議員
  - 生活福祉資金の貸付条件の緩和について
  - 新婚家庭に対する家賃補助制度について
  - 飯盛城址の国史跡指定について
  - だんじりの市内1カ所への大集結について
  - 非核平和都市宣言30周年記念行事について
- [5] 水落 康一郎議員
  - フェイスブックを活用した情報発信について
  - 高齢者の生きがいづくりについて
  - 入札制度改革について**
  - 学校教育における少子化対策について
  - 諸福児童センター廃止後の有効活用について
- [6] 中河 昭議員
  - 市長公約の全世代地域市民会議開催について
  - 生活保護の受給状況について
  - エネルギー問題について
  - 「スーパー土のう」の導入について
  - マナー改善の取り組みについて
- [7] 豊芦 勝子議員
  - 北条地域にある遊休資産の活用について
  - 高齢者の医療費負担について
  - 市民検診の充実について
  - 市営住宅の活用について
  - 契約による市内業者の育成について
- [8] 大東 真司議員
  - 子ども医療費助成の拡大について**
  - パーソナルサポートサービスの導入について**
  - 市内スポーツ施設の充実について
  - 国技スポーツの推進と武道館の設置について
  - 介護認定のスピード化について
- [9] 飛田 茂議員
  - 中小零細企業・商店向け融資制度の創設を
  - 授業アンケート試行と人事評価制度について**
  - 北条踏切改修の進捗状況について
  - 四条駅南ガード下の路面改修について**
  - 児童虐待通報先の改善について
- [10] 品川 大介議員
  - 火の見やぐらの老朽化対策について**
  - 三箇せせらぎ水路事業について
  - 教育熱心なまち大東市を目指して
  - 新婚世帯家賃助成制度の創設について**
  - 子育て世代対象の住宅取得助成制度について**
- [11] 石垣 直紀議員
  - 新公会計制度の導入について
  - 市民会議開催の進捗状況について
  - 議員の要望・提案事項の取り扱いについて
  - 市民憲章の意義・役割について
  - 中学校給食の導入時期・導入方法について
- [12] 中村 ゆう子議員
  - 高等学校通学費等補助の実施について
  - 龍間地区および阪奈道路の災害対策について
  - 新たな総合防災マップの作成について
  - 飯盛山荘廃止後の対応について
  - 小学校給食の安全性確保の取り組みについて
- [13] 北村 哲夫議員
  - 諸福児童センター跡地の有効活用について
  - 消防団車両の安全性について
  - 公園のバリアフリー化について
  - 太陽光発電の活用と補助金について
  - 地域活性化について
- [14] 光城 敏雄議員
  - 業務委託の随意契約の実態とその見直しを**
  - 職員の懲戒処分等の公表指針の策定を
  - 「要綱行政」を改め、条例化の推進を
  - 市民が納得できる職員給与について
  - 大東市・四條駅市消防広域化について
- [15] 寺坂 修一議員
  - 大東市の交通バリアフリーについて
  - 諸福・深野児童センター跡地の再活用を**
  - にぎわいとまちの活性化、災害時の指揮本部・避難場所としての新庁舎建設について
  - 建築主事の配置と本市のまちづくりについて

※掲載は発言順



議会活動日誌 (平成24年9月第3回定例会以降のもの H.24.9.27~H.24.12.21)

9月

27日 ●中学校給食の実施に関する特別委員会

10月

2日 ●合同委員会報告会  
●議会運営委員会協議会  
9日 ●大東市農業委員会  
11日 ●中学校給食の実施に関する特別委員会行政視察(施設見学)  
12日 ●大東市農業委員会現地視察研修会  
15日~16日 ●まちづくり委員会行政視察(沖縄県那覇市・名護市)  
22日 ●教育委員と議員との懇談会  
23日 ●まちの活性化に関する専門部会  
24日 ●中学校給食の実施に関する特別委員会  
25日 ●いきいき委員会(決算審査)  
26日 ●いきいき委員会(決算審査)  
27日 ●出前政策意見交換会  
29日 ●まちづくり委員会(決算審査)  
30日 ●大阪府農業委員会  
31日 ●交通問題に関する特別委員会

11月

2日 ●合同委員会報告会  
●議会運営委員会協議会  
●大阪府市議会議長会正副会長会・理事会  
6日 ●まちの活性化に関する専門部会  
●大阪府市議会議長会総会  
8日 ●大東市農業委員会

9日 ●大阪中央環状モノレール建設促進議会協議会懇話会および総会  
●大東市の教育環境に関する特別委員会  
13日~14日 ●いきいき委員会行政視察(北海道函館市・北斗市)  
16日 ●大阪府市議会議長会議員研修会  
17日 ●出前議会報告会  
19日 ●東大阪都市清掃施設組合議会  
●東部大阪治水対策促進議会協議会総会  
22日 ●大阪府後期高齢者医療広域連合議会定例会  
26日 ●全議員議案説明会  
●議会運営委員会  
27日 ●都市計画審議会  
28日 ●まちの活性化に関する専門部会  
29日 ●河北市議会議長会  
30日 ●東部大阪治水対策促進議会協議会中央陳情および治水事業促進全国大会

12月

3日 ●本会議(第1日目)  
4日 ●大東市農業委員会  
6日 ●いきいき委員会  
10日 ●まちづくり委員会  
●会派代表者会議  
18日 ●議会運営委員会  
●議会市民レポーター会議  
19日 ●本会議(第2日目)  
20日 ●本会議(第3日目)  
●議会運営委員会  
21日 ●本会議(第4日目)  
●まちの活性化に関する特別委員会

# 付議された議案の審議結果 12月定例会

○賛成 ×反対

件名	会派・議員名(議席順)	大東	公明党	日本	清新会	無会派	結果
		維新の会	議員団	共産党			
専決処分の報告	24年度一般会計補正予算(専決第1次)	○	○	○	○	○	承認
23年度歳入歳出決算	一般会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	認定
	国民健康保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	認定
	交通災害共済事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	認定
	下水道事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	認定
	火災共済事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	認定
	都市開発資金特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	認定
	介護保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	認定
	後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	認定
	水道事業会計決算	○	○	○	○	○	認定
24年度補正予算	一般会計補正予算(第3次) 修正案	○	○	○	○	○	可決
	一般会計補正予算(第3次) 修正部分を除く原案	○	○	○	○	○	可決
	一般会計補正予算(第4次)	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険特別会計補正予算(第2次)	○	○	○	○	○	可決
	下水道事業特別会計補正予算(第3次)	○	○	○	○	○	可決
	介護保険特別会計補正予算(第2次)	○	○	○	○	○	可決
指定管理者の指定	総合福祉センター	○	○	○	○	○	可決
	南郷子育て支援センター	×	×	×	×	×	否決
	キッズプラザ	○	○	○	○	○	可決
	住道駅北自転車駐車場および住道駅西第二自転車駐車場	×	×	×	×	×	否決
	歴史とスポーツふれあいセンター	○	○	○	○	○	可決
	中央図書館、西部図書館、東部図書館および生涯学習ルーム「まなび南郷」	○	○	○	○	○	可決
	総合文化センター	○	○	○	○	○	可決
	青少年野外活動センターおよび青少年ルーム	○	○	○	○	○	可決
	放課後児童クラブ	○	○	○	○	○	可決
条例の制定	附属機関条例	○	○	○	○	○	可決
	準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例	○	○	○	○	○	可決
	道路の構造の技術的基準を定める条例	○	○	○	○	○	可決
	市道に係る移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	可決
	道路標識の寸法に関する条例	○	○	○	○	○	可決
条例の一部改正	事務分掌条例	○	○	○	○	○	可決
	公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例	○	○	○	○	○	可決
	手数料条例	○	○	○	○	○	可決
	防災会議条例および災害対策本部条例	○	○	○	○	○	可決
	企業立地促進条例	○	○	○	○	○	可決
	放課後児童クラブ条例	○	○	○	○	○	可決
	都市公園条例	○	○	○	○	○	可決
	市営住宅条例	○	○	○	○	○	可決
下水道条例	○	○	○	○	○	可決	
決議	指定管理者制度の運用の見直しを求める決議	○	○	○	○	○	可決
	河川ごみ回収施設の設置を求める決議	○	○	○	○	○	可決
意見書	防災・減災体制再構築推進基本法の制定を求める意見書	○	○	○	○	○	可決
その他	特別委員会の設置	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の認定	○	○	○	○	○	可決
	淀川左岸水防事務組合規約の一部変更	○	○	○	○	○	可決
	議員の派遣	○	○	○	○	○	可決

## 新たに設置された特別委員会

### まちの活性化に関する特別委員会

【所管事項】本市の人口減少対策とまちの活性化に関する調査研究を行います。

委員長／寺坂 修一 副委員長／飛田 茂

委員／酒井 一樹・品川 大介・中村 ゆう子・北村 哲夫・石垣 直紀

## 議場コンサートを開催

市民に親しまれる議会を目指す取り組みの一環として、12月19日に、月乃家小菊さんと月乃家会の皆さんによる議場コンサートを開催し、正調河内音頭『春の旅立ち』をご披露いただきました。

